

- サブスタッフをより深く知るためのニュースレター -

□サブスタッフの活動の実際②

□中町高齢者在宅サービスセンターにインタビュー②

(桜町高齢者在宅サービスセンター)

## サブスタッフの現場へ直撃！

今号では、桜町高齢者在宅サービスセンターで活動しているサブスタッフの現場の様子を紹介します。毎週金曜日の午後に職員とサブスタッフが中心となって通所型サービスを提供しています。取材日は偶然にも年に数回しかないお菓子作りの日。イキイキとしたみなさんの様子をご覧ください。



## 12:50 準備スタート

まずは二手に分かれて活動の準備を進めていました。3名で訓練器具やレクリエーションの道具を準備し、慣れた手つきで会場の設営をしていました。一方、調理室ではお菓子作りの準備を進めていました。本日のメニューは「スイートポテト」。段取りを勘案し、職員の神保さんと手早く準備していました。



会場の準備を3人で和やかに。

スイートポテトの下ごしらえをせっせと準備する高橋さん。



## 2

## 13:00 個別機能訓練

利用者が事業所に到着すると、血圧や体温を順次測定していました。測定後はテーブルを囲み、各自の課題に取り組みます。ペグボードや脳トレ、刺し子やクロスステッチ、塗り絵など様々。サブスタッフがコミュニケーションを取りながら支援をしていました。



## 3

## 13:30 お菓子作り

利用者も一緒になって、スイートポテト作りに挑戦です。材料を一緒にかきまぜ、スイートポテトを食べやすい大きさに丸めて形作りました。仕上げには卵黄をひと塗りしてツヤ出しを。最後にオーブンで焼き上げ完成です。あたりには甘い香りが漂っていました。



## 4

## 14:30 会食

テーブルを囲み、手作りのスイートポテトをいただきました。自然と会話は弾み、笑みがこぼれます。自分自身の病気のことや家族のことなど話に華が咲き、会話は絶えませんでした。主役は利用者で、サブスタッフは聞き手に回っているのが印象的でした。



## 5

## 15:00 片付け・見送り

サービス終了後は、順に利用者を1階へ送りながら、会場の片づけを行っていました。半日の活動もあっという間に終了しました。

サブスタッフの活動の様子を2号に渡って紹介しましたが、今後の活動のヒントにつながりましたか？ご紹介した皆さんは、職員と一緒に利用者に必要なサービスをどのように提供したら良いか考え、実践していました。それも悩みながら時には失敗を重ね、その先に今の活動があります。もちろん職員のみなさんの温かいサポートがありますので、相談しながら進められます。

# 事業所・サブスタッフの声をお届け！

このコーナーでは、サブスタッフ養成事業に関わる事業所の職員とサブスタッフをご紹介します。今号は中町高齢者在宅サービスセンターで活動するサブスタッフの声をお届けします。

仲間ができたこと、職員の皆さんが真剣に向き合ってくれたことが励みに。

今回は、中町高齢者在宅サービスセンターでサブスタッフとして活動している藤崎さん、平山さん、小林さんの3名にお話を伺いました。

## Q.サブスタッフ養成講座を始める前から、デイサービスや介護現場をご存知でしたか？

**平山：**全然デイサービスのことは知らなかったです。これまでに介護の経験もなかったのです。

**藤崎：**私は以前にホームヘルパーをやっていました。特養やデイサービスの利用者が、何もすることなくポツンといるけれど、職員は仕事で声をかけられない様子を見てきて、「ボランティアがいたら」という思いがあり、ボランティアも続けています。

**小林：**父が特別養護老人ホームに入所していました。その施設の雰囲気、明るさと温かみがあって、こんなところで過ごせるなら父も幸せだなと思ったので興味がありました。何度かつきみの園に行った時は、父がお世話になった施設と雰囲気が似ており、「恩返しをしたい」という気持ちはありましたね。

## Q.サブスタッフ養成講座を受講した理由は？

**平山：**広報の紹介があったからです。65歳以上で介護保険を受けていない人なら誰でも申し込めたので、どんなものかと思って、まるっきり全然知らない状態でしたが参加してみました。

**藤崎：**さくら体操で介護福祉課の職員とお会いして、たまたま「藤崎さんがやってきたことが、そのまま生かせるかもしれませんよ」というお話を聞いたのがきっかけです。それと、自分も養成講座に参加する中でストレッチや体操をさせてもらえるということもあって。

**小林：**介護予防ボランティア養成講座を受講していて、それが終わる頃に受付にサブスタッフの案内が置いてあって、受付の方に「やったらどう？」と勧められたので申し込みました。



インタビューに答えてくださった左からサブスタッフの小林さん、藤崎さん、平山さん。

## Q.サブスタッフ養成講座を受講して良かったことや大変だったことを教えてください。

**小林：**仲間ができたことかな。栄養士や歯科の先生など職員のみなさんから色々なことを教えていただいて、たくさんの知識がもられたことですね。

**藤崎：**自分のためになっていると思います。養成講座の時も色々な知識が得られるし、体も動かせるし。前日の夜から「朝9時半に行く！」と気合が入るので、生活のリズムも作れますね。

**平山：**いずれ自分が高齢になる時に、どう対処したらいいかを勉強できたので、すごく自分のためになりました。将来、介護が必要になった時の考え方や対処方法といったそんなお話が自分のためになりました。事業所に来ると、利用者の方とお話ができるという事がすごく楽しいです。年配の方とお話しできることは、これまでなかったので、すごく新鮮で、貴重な経験ができて良かったと思っています。

一次号に続く。



## 中町高齢者在宅サービスセンター

所在地：東京都小金井市中町2-15-25

20周年を迎える「つきみの園グループ」の中で、デイサービスなど在宅サービスを展開している。